

令和3年度天皇杯受賞者受賞理由概要
畜産部門

長命連産の優れた繁殖性の長期継続で高収益和牛経営を実現

○氏名又は名称 森岡 良輔・森岡 恵理香

○所在地 鹿児島県曾於市

○出品財 経営（肉用牛繁殖）

○受賞理由

・地域の概要

曾於市は、鹿児島県の東部を形成する大隅半島の北部に位置し、農業産出額481億円のうち83%を畜産が占め、畜種別では肉用牛が第1位で子取り用雌牛頭数は県の約1割を占める畜産の盛んな地域である。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

介護福祉士であった森岡良輔氏は平成19年に経営を受け継ぎ、栄養士であった妻の恵理香氏は平成27年に経営参画し、共に両親の下で技術の研鑽に努め、自家産牛による繁殖牛の更新と増頭で堅実に規模拡大を図ってきた。

・受賞者の特色

(1) 優れた繁殖経営の長期継続

長期にわたり、分娩間隔は12ヶ月未満、子牛生産率は90%以上、平均産次は6産以上と長命連産の優れた繁殖成績を継続して達成している。

(2) 低い子牛生産費用と高い所得率の実現

自家産牛での繁殖牛の更新と増頭による借入金の少ない「健全な経営」と優れた繁殖成績による子牛生産費用の低減化と所得率の高い経営を行っている。

(3) 科学的分析結果に基づく飼養管理の改善と粗飼料自給率の向上

きめ細やかな繁殖牛及び子牛の管理を行うとともに、代謝プロファイルテストを実施し、更なる繁殖成績と子牛の生産性向上を図っている。

また、自給飼料の増産に努め、繁殖牛への粗飼料自給率100%を達成している。

(4) 女性の活躍

森岡恵理香氏は、経営参画後、子牛育成を担当するとともに繁殖データや各種帳簿管理など経営の中核を担い、母のゆき子氏も指導農業士として活躍している。

・普及性と今後の発展方向

森岡良輔・森岡恵理香夫妻の繁殖技術や経営内容は、地域繁殖経営のベンチマークとなっており、諸活動を通じて普及に大きく貢献している。今後は、ICT技術の導入なども検討しており、堅実な規模拡大を図っている。